文学部　国語教育学科　国語教員養成コース　カリキュラムツリー

凡例：　必修科目　必修選択科目　選択科目

第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
言語表現入門A	言語表現入門B	クリティカルリーディング ロジカルシンキング	クリティカルシンキング 議論ストラテジー	情報編集デザイン 広告と言語 テクノロジーと言語	プレゼンテーション技法 読み書きの認知と指導 現代思想と言語 英語で読む日本文学	音声表現法研究 言語表現教育研究	レトリック探求 批評理論
	現代社会の諸問題	異文化コミュニケーション 世界文学	メディアと文化表現				
				ランゲージアーツセミナーA	ランゲージアーツセミナーB	ランゲージアーツセミナーC	ランゲージアーツセミナーD ランゲージアーツプロジェクト
キャリアナビゲーション	学術情報リテラシー	インターンシップA	キャリアセミナーA インターンシップB	キャリアセミナーB インターンシップC	インターンシップD		
日本語学(US)		日本語文法論I 日本語語彙論	日本語文法論II		日本語史 日本語学演習 日本語音韻論		日本語学研究
日本文学概論		日本文学史 古典文学演習	日本近代文学演習 漢文学 書写	日本古典文学研究	日本近代文学研究		
			国語科指導法Ⅰ	国語科指導法Ⅱ	国語科指導法Ⅲ	国語科指導法Ⅳ	
		スクールインターンシップA	スクールインターンシップB	スクールインターンシップC 教育現場研究	スクールインターンシップD		
ELF							
一年次セミナー101　一年次セミナー102 玉川の教育　健康教育 音楽Ⅰ　音楽Ⅱ		他学部・他学科自由選択科目 （日本語教員資格など） 教職科目・US科目					

ディプロマ・ポリシー（DP）

DP1.　社会で必要とされる言語技術を修得し、時宜に応じて適切に運用することができる。

DP2. 日本語の特質について深い理解を有し、物事を論理的かつ批判的に思考する力を身につけ、言語による的確なコミュニケーションをはかることができる。

DP3. 言語や文化の多様性を理解して尊重し、問題解決のために多角的な視野をもって主体的・積極的に行動することができる。

DP4.「聞く」・「話す」・「読む」・「書く」という日本語運用能力を実践的に発揮できる。

DP5.豊かな言語観・文化観と確実な言語技術を有し、論理的・批判的思考を基盤にグローバル社会に貢献することができる。または、社会で生きて働く国語の能力と言語文化に関する専門的な知識を駆使して授業ができる能力を十分に有し、中学校・高等学校等の教育機関における国語教育に貢献することができる。

国語教育学科　言語表現コース カリキュラムツリー

凡例：　必修科目　必修選択科目　選択科目

第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
言語表現入門A	言語表現入門B	クリティカルリーディング	クリティカルシンキング	情報編集デザイン	プレゼンテーション技法	音声表現法研究	レトリック探求
		ロジカルシンキング	議論ストラテジー			言語表現教育研究	批評理論
	現代社会の諸問題			広告と言語	読み書きの認知科学		
		異文化コミュニケーション	メディアと文化表現	テクノロジーと言語	現代思想と言語		
		世界文学			英語で読む日本文学		
				ランゲージアーツセミナーA	ランゲージアーツセミナーB	ランゲージアーツセミナーC	ランゲージアーツセミナーD
							ランゲージアーツプロジェクト
キャリアナビゲーション	学術情報リテラシー		キャリアセミナーA	キャリアセミナーB			
		インターンシップA	インターンシップB	インターンシップC	インターンシップD		
日本語学(US)		日本語文法論Ⅰ	日本語文法論Ⅱ		日本語史		日本語学研究
		日本語語彙論			日本語学演習		
					日本語音韻論		
日本文学概論		日本文学史	日本近代文学演習	日本古典文学研究	日本近代文学研究		
		古典文学演習	漢文学				
			書写				
		国語科指導法Ⅰ		国語科指導法Ⅱ	国語科指導法Ⅲ		国語科指導法Ⅳ
		スクールインターンシップA	スクールインターンシップB	スクールインターンシップC	スクールインターンシップD		
				教育現場研究			
ELF		ELFまたは他の外国語					
一年次セミナー101　一年次セミナー102 玉川の教育　健康教育 音楽Ⅰ　音楽Ⅱ		他学部・他学科自由選択科目 （日本語教員資格など） US科目					

ディプロマ・ポリシー（DP）

DP1.　社会で必要とされる言語技術を修得し、時宜に応じて適切に運用することができる。

DP2. 日本語の特質について深い理解を有し、物事を論理的かつ批判的に思考する力を身につけ、言語による的確なコミュニケーションをはかることができる。

DP3. 言語や文化の多様性を理解して尊重し、問題解決のために多角的な視野をもって主体的・積極的に行動することができる。

4.「聞く」・「話す」・「読む」・「書く」という日本語運用能力を実践的に発揮できる。

DP5.豊かな言語観・文化観と確実な言語技術を有し、論理的・批判的思考を基盤にグローバル社会に貢献することができる。または、社会で生きて働く国語の能力と言語文化に関する専門的な知識を駆使して授業ができる能力を十分に有し、中学校・高等学校等の教育機関における国語教育に貢献することができる。